

2 目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホーム神苑

作成日 平成23年3月31日

【目標達成計画】

| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目 標 | 目標達成に向けた具体的な取組み内容 | 目標達成に要する期間 |
|------|------|---|---|--|------------|
| 1 | 49 | 昨年度に続いての計画で一応達成出来たが、一人ひとりのその日の希望にそっての外出支援の頻度が利用者によって偏った | 全利用者に偏らない外出支援 | ①重度の利用者にも家族やボランティア等の協力をお願いして支援する。 ②希望の表出が出来ない方の行きたい所の把握 | 12ヶ月 |
| 2 | 33 | 終末期ケアの知識不足や方針の共有不足。 | 終末期ケアを行うにあたり、家族・職員其々が不安なく対応出来る様な支援体制作り。 | ①定期的な勉強会 ・呼吸状態（経緯） ・チアノーゼ状態 ・安楽な姿勢 ・清拭方法（苦痛を伴わない） ・食べやすい食材、料理と摂取時の角度 ・家族への対応 ・主治医・家族・訪問看護・ホームとの連携体制 ・息を引き取られた後の対応（エンゼルケア） ・不安を抱えた職員へのフォロー | 12ヶ月 |
| 3 | 35 | 夜間帯の災害時の対応に不安がある。 | 夜間帯の避難方法を身につける。 | ①夜間帯の想定での訓練を地域の方やご家族様に参加して頂き実行する。 ②災害時の一斉送信メールの充実を図る。（家族様の携帯アドレスの登録数を増やす） | 12ヶ月 |
| 4 | 40 | 食事の準備や後片付けが特定の利用者に限られている。 利用者の好みを取り入れた献立が少ない。 | 全利用者に食事を楽しめる支援をする。 | ①食材切りや後片付け味付け等のお手伝いをして頂く、出来ない方には味見や作り方を教えて頂く ②献立作成時、利用者の好みをお聞きして取り入れる | 12ヶ月 |
| 5 | 36 | （継続目標）管理者が利用者の前で職員を叱責する事があり、利用者や家族に不安や不快感を与えている。 | スタッフへの注意や指導は、利用者や家族から見えない所で行う。 | スタッフに注意や指導の必要のある場合で、急を要するとき意外は、利用者や家族に不安や不快感などの影響を与えない様に配慮して、事務所等にスタッフを呼び指導助言を行う。 | 12ヶ月 |

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。

2 目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホーム神苑

平成25年 3月 20日

【目標達成計画】

| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目 標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
|------|------|---|--|---|------------|
| 1 | 49 | 本年度も引き続き課題が上がった。積極的に外出するようになってきているが利用者によって外出の偏りがある。 | 全利用者に偏らない外出支援を行う。 | ①天候の良い日は、外気浴を支援する。 ②近場に散歩、買い物など楽しみを持って外出する支援を行う。 ③数名に分け全員の外出支援をする。 | 12ヶ月 |
| 2 | 36 | 家族アンケートにて介護の質の低下の指摘があった。介護者としての資質向上の為の勉強不足、又指導不足がある。 | その方の意思及び人権を尊重しその方の立場に立って支援する介護力を身に付ける。 | ①その方を尊重した言葉使い、言葉かけ、態度について職員で常に話し合う。 ②不適切言葉使い、態度についてその場で指導する。 ③研修に積極的に参加し自己研鑽する。 | 12ヶ月 |
| 3 | 35 | 夜間帯の災害時の対応に不安がある。 | スタッフへの急速な連絡体制と地域の方の支援を含めた避難方法を身に付ける。 | ①災害を想定し、地域の方の参加をお願いし、避難訓練を実施する。 ②夜間を想定した避難訓練の実施を行う | 12ヶ月 |
| 4 | 2 | 地域との関わりが少なく地域の方が来苑されることはあまりない。地域の行事への参加が少なくなった。 | 地域との関わりを密にし互いに助け合う関係になる。 | ①地域の行事に参加する ②地域の方が来苑しやすいような苑の行事を考え呼びかける。 ③積極的に近隣に外出し地域の方に挨拶を行い、顔を覚えていただく努力をする。 | 12ヶ月 |
| 5 | 19 | 家族アンケートにて介護の質の低下の指摘があった。スタッフとの会話や情報が少ないと思っておられる家族がおられる。 | 家族との密な情報交換を行い、家族が安心して頂ける環境を作る。 | ①担当者又はユニット責任者によって家族の面会時や電話にて苑の状況を定期的に連絡する。 ②ホームだよりについて職員全員で勉強し、内容や書き方など家族が興味を持って読んでいただけるものを作る。 | 12ヶ月 |

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。

2 目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホーム神苑

平成26年 3月 20日

【目標達成計画】

| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目 標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
|------|------|---|---|--|------------|
| 1 | 36 | 時々一人一人の人格を尊重しプライバシーを損ねない言葉かけが不十分な事がある。職員同士で注意できていない。慣れてしまうことにより尊重した言葉かけに欠けることがある。 | その方の意思及び人権を尊重しその方の立場に立って支援する介護力を身に付ける。 | ①尊重した言葉使い、言葉かけ、態度について具体的に話し確認し合う。 ②不適切言葉使い、態度についてその場又はカンファレンスで話し合う。 ③研修に積極的に参加し自己研鑽する。 | 12ヶ月 |
| 2 | 38 | 業務の都合に合わせて皆さん一緒の行動になってしまう。過剰に手伝ってしまいその方の出来る力や役割を十分に発揮できていない。 | その方の出来ることを十分に発揮でき生活にやりがい生きがいを持つことができる支援を行う。 | ①その方にあった役割を考える。(食事の切り込みが無理な方は味見など) ②本人のこれまでの生活習慣を大切にする。(入浴、食事など) ③出来ることを把握し過剰な支援をしない | 12ヶ月 |
| 3 | 49 | 本年度も引き続き課題が上がった。積極的に外出するようになってきているが利用者によって外出の偏りがある。 | その方にあった外出支援を考え細かい外出支援を行う。 | ①天候の良い日は、外気浴を支援する。 ②近場に散歩、買い物など楽しみを持って外出する支援を行う。 ③数名に分け全員の外出支援をする。 | 12ヶ月 |
| 4 | 35 | 夜間帯の災害時の対応に不安がある。 | スタッフへの急速な連絡体制と地域の方の支援を含めた避難方法を身に付ける。 | ①災害を想定し、地域の方の参加をお願いし、避難訓練を実施する。 ②夜間を想定した避難訓練の実施を行う | 12ヶ月 |
| 5 | 2 | 地域の方との交流を持ちたいと思っはいるがなかなか実行に移すことができない。日々の業務以外に地域交流行事を入れることがなかなかできずにいる。 | 地域との関わりを密にし互いに助け合う関係になる。 | ①地域の行事に参加する ②地域の方が来苑しやすいような苑の行事を考え呼びかける。 ③積極的に近隣に外出し地域の方に挨拶を行い、顔を覚えていただく努力をする。 | 12ヶ月 |

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。